



平成 28 年 5 月 18 日

各 位

会社名 スズキ株式会社  
代表者名 代表取締役 鈴木 修  
(コード：7269 東証第1部)  
問合せ先 経営企画室 広報部長  
岡島 有孝  
電話番号 (053) 440-2030

## 国土交通省への報告内容について

スズキ株式会社は、国土交通省より排出ガス・燃費試験における実態調査の指示を受け、本日、調査結果を同省へ報告いたしました。

社内にて測定したデータについて調査したところ、燃費性能を偽る不正行為はございませんでしたが、四輪車の排出ガス・燃費試験業務について、国土交通省が定める規定と一部異なる取扱いがございましたので、ご報告申し上げます。

謹んでお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 国が定める規定と異なる測定方法について

現在販売している 16 車種について走行抵抗の測定状況を確認したところ、申請時には、惰行法により実測したデータではなく、惰行法実測値と比較し妥当性をみた上で、タイヤ、ブレーキ、トランスミッションなどの装置毎の転がり抵抗の実測値や風洞試験装置での空気抵抗の実測値を積み上げた走行抵抗値を使用していたことが判明いたしました。

#### 2. 原因

当社が所有する相良テストコースは、海に近く丘の上にあることから風の影響を著しく受けるなど、天候に左右されるため試験が困難であったことが背景にあると考えております。

昨今の低燃費技術の向上に伴う転がり抵抗の低下や車体の軽量化により、風による影響を受けやすくなってきており、測定結果のばらつきが大きくなる傾向にあります。例えば低転がりタイヤを採用する場合に、その効果をばらつき無く把握することが難しく、データを取得するためには、何度も繰り返し測定を行う必要がありました。

### 3. 燃費値等への影響

今回、既に持っている惰行法による実測データに加えて、惰行法による実測データを追加取得し、全ての申請値と惰行法実測値の関係を改めて検証した結果、全ての申請値が惰行法による実測値の測定誤差の範囲内であることを確認いたしました。

したがって、申請した走行抵抗値及びそれにより測定した燃費値については修正の必要はないと考えております。

また、排出ガス性能についても、保安基準に適合しており、問題はないと考えております。

お客様には引き続き安心してお乗りいただきたいと考えております。

### 4. 調査対象車種 16 車種

#### <軽四輪車>

アルト（2014年12月22日発売）、アルト ラパン（2015年6月3日発売）

ワゴンR（2012年9月19日発売）、ハスラー（2014年1月8日発売）

スペーシア（2013年3月15日発売）、エブリイ（2015年2月18日発売）

キャリイ（2013年9月20日発売）、ジムニー（2010年JC08対応）

#### <登録車>

ソリオ（2015年8月26日発売）、イグニス（2016年2月18日発売）

バレーノ（2016年3月9日発売）、SX4 S-CROSS（2015年2月19日発売）

スイフト（2010年9月18日発売）、エスクード2.4（2012年JC08対応）

エスクード（2015年10月15日発売）、ジムニーシエラ（2010年JC08対応）

なお、海外については、本件は関係ございません。

また、業績予想に与える影響につきましては、現時点ではないと考えています。今後、業績予想の修正が必要とされる場合には、速やかに開示いたします。

以上